

埼玉県
日墨戦略的グローバル・パートナーシップ
研修計画派遣奨学生
2022年度派遣者
募集要項



埼玉県県民生活部国際課
2022年5月

埼玉県日墨戦略的グローバル・パートナーシップ
研修計画派遣奨学生
2022年度派遣者 募集要項

1 趣 旨

外務省が行う、「第49期 日墨戦略的グローバル・パートナーシップ 研修計画」に、メキシコ州と姉妹提携を結んでいる埼玉県を代表する研修生として参加する奨学生を募集します。

2 概 要

(1) 募集人数 2名

※ 埼玉県から推薦できる人数。最終合格人数ではありません。

(2) コースの概要

●スペイン語・メキシコ文化コース

ア 特定の分野について専門性を有する者（大学生、大学院生、実務家、研究者等）が、自らの研究活動、実務に役立てる観点から、メキシコ国立自治大学（UNAM）の外国人のためのスペイン語コース（CEPE）にてスペイン語の習得を中心とした研修を行う。メキシコにおけるスペイン語能力判定試験において、一定の成績を修める者（注1）については、年度の後半は、大学等にて専門分野の授業の履修等を行うことができる。

（注1）CEPEの中級（Intermedio2）修了レベル相当

イ 渡航までに基礎的スペイン語の習得に努めることが求められる。

ウ 研修生は、メキシコ到着後に国家科学技術審議会（CONACYT）によるオリエンテーションを受ける予定。

エ 研修期間中、全ての研修生は、メキシコ政府実施機関であるCONACYTに対し、定期的（3か月ごと）に研修活動報告書を提出し、各受講コースにおいて良好な成績を修めることが求められる。成績が悪い場合には奨学金の停止の可能性もある。奨学金の停止は、CEPEのスペイン語の授業に落第した際に、CONACYTにより決定される。

オ CEPEではスペイン語の授業のほかに、メキシコ文化の授業やその他のワークショップを各学期1～2コマ履修し、履修した授業・ワークショップについては然るべく出席することが求められる。

カ 研修に関する詳細（奨学生の義務など）については、「誓約書」（スペイン語/仮訳）を参照すること。

(3) 派遣予定期間

2022年10月上旬から2023年7月下旬

(4) 待遇（メキシコ政府による給付内容）※注2

- ア 滞在費：毎月、月額 13,162.90 ペソ（約8万3千円）を支給。
 - イ 医療保険：メキシコ政府（公務員保険・社会サービス庁：ISSSTE）が原則として負担。
 - ウ 入学金・授業料：メキシコ政府はスペイン語コースの入学金・授業料を支給。追加費用（教材費等）は自己負担。ただし、対象となるコースは本奨学制度に合致し、CONACYTが許可したコースのみ（オンラインのコースは対象とはならない。）。
 - エ 渡航費：東京ーメキシコシティ間の往復航空券を支給
 - オ 住居の選定：原則ホームステイとし、CONACYTや大学等の協力を得ながら留学生自身が行う。
- （注2）支給額他、待遇については毎年メキシコ政府による見直しの上改訂される。

(5) インターンシップ制度

上記コースの受講者のうち、下記の条件を満たす希望者は、メキシコの公的機関、研究機関及び企業等において、一定期間（1か月～6か月程度）のインターンシップの実施を認められる。

- ア 一定のスペイン語力（注1）を有すること
- イ インターン先での明確な研修計画を有していること
- ウ 受入機関からの受入証明書を自ら取得すること
- エ 上記アからウまでの条件を満たした上で、CONACYTの許可を得ること。なお、インターンシップを行う場合であっても、受入れ団体から給与等の手当を受け取ってはならない。

3 応募資格

次の（1）～（5）の要件を全て満たす方が対象となります。

- (1) 埼玉県在住者で、日本国籍を有する者
海外からの応募や一時帰国による応募は認められません。
- (2) 心身ともに健康な者
- (3) 4年制大学（渡航時に大学3年生以上であること）又は大学院の在学者、卒業生、または学位取得者に準じた資格、十分な職務経験を有する者
- (4) メキシコに単身で渡航できる者
- (5) 一定のスペイン語力を有する者
〔スペイン語・メキシコ文化コースにおいても、現地の講義はスペイン語で実施するため。〕

※ 過去に本計画（日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画（旧称：日墨交流計画）に参加した者は、団体推薦枠または一般公募枠での参加のいかなを問わず応募できません。

※ 外務省が直接募集する同事業（日墨戦略的グローバル・パートナー

シップ研修計画)との併願はできません。
※ さいたま市が実施する同事業(日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画)との併願はできません。

4 応募締切

2022年6月20日(月)までに下記5に定める書類を提出してください。

- ・郵送の場合は簡易書留(6月20日消印有効)
- ・持参の場合は埼玉県国際課国際連携担当へ(6月20日17時まで)

5 応募書類

以下の書類について、2部(正本1部+コピー1部)を提出してください。応募書類はお返しすることはできませんので、書類の写しを保管しておいてください。

(1) 出願書

和文

※ 別紙1のフォーマットに入力し、打ち出したものを提出すること。

(2) CONACYT申込書

西文(又は英文)

※ 別紙2-2(日本語訳)を参考にし、別紙2-1のフォーマットに原則としてスペイン語で記入すること。写真は上記(1)と同じものを添付すること。4ページ目の署名欄を必ず埋めること。西文の代わりに英文で記入してもよい。

(3) 研修計画書

手書き不可。形式は自由。両面印刷不可。

和文及び西文(又は英文)

- ・メキシコにおける研修計画
- ・自らの研究活動
- ・自身の職務内容とメキシコとの関係
- ・メキシコでの研究成果を自らの研究(職務)に今後どう役立てたいか
- ・メキシコでの研究成果を日墨関係の増進にいかに関与したいか

などについて、和文及び西(英)文(内容が一致していること)で、それぞれA4用紙3枚程度にまとめること。

- (4) 志望動機書
和文及び西文（又は英文）
※ 手書き不可。形式は自由。両面印刷不可。
※ 和文及び西（英）文（内容が一致していること）で、A4用紙各3枚程度にまとめること。
- (5) 推薦状
和文及び西文（又は英文）3名分
※ 専門分野についての能力、人物等について、適切に評価し得る人（教授、上司等）3名による推薦状。形式は自由。署名または捺印が必要。宛名を入れる場合は関係各位とし、他の形式は自由。
- (6) 成績証明書及び卒業証明書
和文及び西文（又は英文）
※ 所属校の成績証明書（最終学年者は卒業見込み証明書も）を提出すること。
※ 学士以上（高専等も含む）の学位を取得した場合は全ての成績証明書及び卒業証明書を提出すること。
※ 最終学歴が高校の場合は卒業証明書のみでも可。
- (7) 語学（西語又は英語）能力を証明する書類（保有者のみ）
西文又は英文
西語：スペイン語技能検定、DELE等の合格証明書、語学学校（西語コース）の修了証（修了レベル記載のもの）等
英語：TOEFL、TOEIC、実用英語技能検定等の合格証明書
※ 原本を提出できないものについては、正本のコピーでも提出可とする。
- (8) 健康診断書
和文及び西文（又は英文）
心身ともに健康であり、留学生活に差し支えないことを証明するもの。
形式は自由（ただし、2022年2月以降に受診したものに限る）。
※ 健康診断書英文サンプル（別添1）をそのまま使用することも可。
※ 和文は医師の署名又は捺印、西（英）文は署名が必要。出願者の訳文＋原本コピーは不可。
- (9) 戸籍抄本
和文及び西文（又は英文）
※ 公的機関の発行する正本（和文）と正本のコピーに西文訳、又は、英文訳を記載したものの両方を提出する。

(10) 写真 4 枚

横 4 cm × 縦 5 cm、上半身脱帽。5 か月以内に撮影したもの。裏面にローマ字で所属 (SAITAMA-KEN と記入) 及び氏名を記入。出願書正本、CONACYT 申込書正本にそれぞれ貼付し、残り 2 枚は封筒に入れて送付すること。写真のサイズを枠に合わせて変更しないこと。

(11) 住民票

和文 1 部 (取得後 3 か月以内のもの)

(12) 応募書類チェックリスト (別紙 3)

提出前に、全ての書類が整っているか、チェックリストで確認すること。

< 「5 応募書類」 についての注意事項 >

- 1 出願書・CONACYT申込書のコピーは、写真貼付後の正本からとること。
- 2 正本が和文（又は、西文・英文）のみしか用意できない場合に限り、正本のコピーに応募者本人の西（英）訳（又は、和訳）を直筆記入したものを提出すること。若しくは正本のコピーと別紙の西（英）訳（又は和訳）を一通としたものを不足言語分の正本とする。ただし健康診断書では不可。
- 3 出願書類は、A4判の大きさに折りたたむか、台紙に貼付し、A4判で統一すること。
- 4 開封無効の証明書等も開封してとじること。
- 5 提出された書類は一切返却しない。
- 6 書類の綴じ方

(1) 書類は正本とコピーを分け、以下の順に重ねてクリップ止めする（ホチキスは使用しない）。

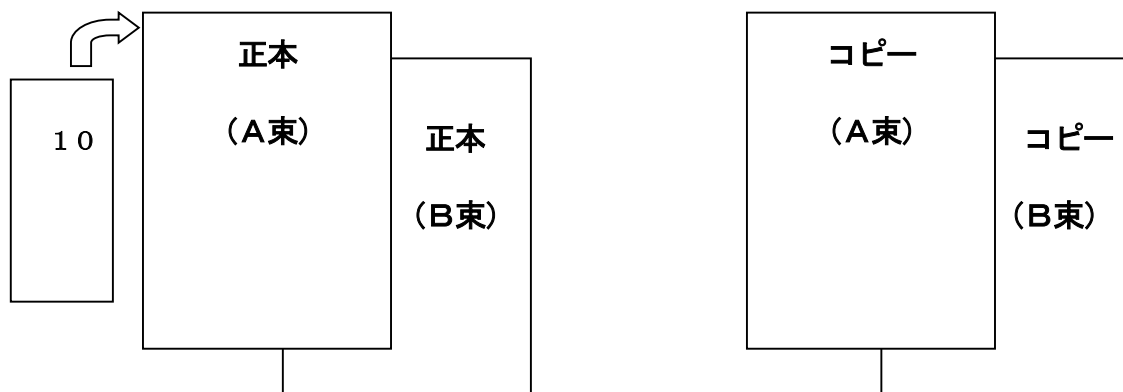
- ・和文の束（A）：(1), (3), (4), (5), (6), (8), (9), (10) (出願書正本に写真を貼付)、(11)、(12)
- ・西（英）文の束（B）：(2), (3), (4), (5), (6), (7), (8), (9), (10) (CONACYT申込書正本に写真を貼付)
- ・写真(2枚)入り封筒：(10)

※上記の番号は「5 応募書類（1）～（12）」までの番号と対応している。

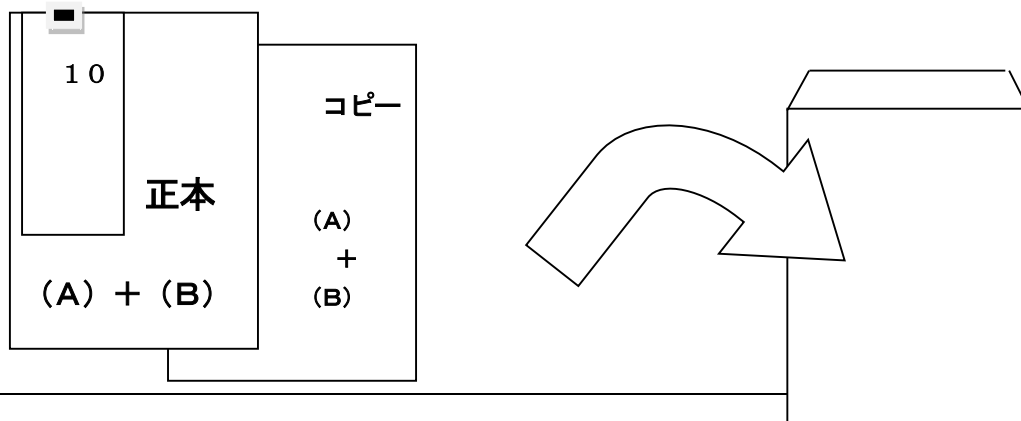
※和文の束には和文の書類を、西（英）文の束には西（英）文の書類をそれぞれ綴じること。ただし、和文の束に関しては、正本が和文でない場合は、和訳文のみでなく正本のコピーと和訳で一通とみなし綴じること。西（英）文の束に関しても、正本が西文・英文でない場合は、訳文のみでなく正本のコピーと訳文で一通とみなし綴じること。

(2) 正本とコピーをそれぞれ（A）、（B）の順に重ねる。

写真入り封筒は正本の上に重ね、ともにクリップ止めする（ホチキスは使用しない）。



(3) 正本を表にして、封筒に入れ送付する。



6 書類選考

書類選考結果は、面接の詳細と併せて2022年6月27日(月)までに各応募者あてに連絡します。

7 面接選考

(1) 面接選考の目的

当事業の趣旨を良く理解し、埼玉県から派遣する奨学生としてふさわしい人格、見識を持っているかどうかを評価するために面接選考を行います。

(2) 面接の方法

応募者に対し、個人面接を行います。

※ 面接の詳細については、募集締切後、書類選考を行った上で、2022年6月27日(月)までに各応募者あてに連絡します。

(3) 面接の時期

2022年7月4日(月)又は6日(水)(予定)

※面接は平日昼間帯(9:00~18:00頃)の実施を予定しています。

(4) 面接の場所

埼玉県庁近辺の施設での実施を予定しています。

8 留学に関する注意事項

(1) 誓約書への署名

ア 埼玉県への誓約書への署名

奨学生は渡航前に自己責任の原則を定めた誓約書に署名するものとします。留学中のトラブル・事故等について、埼玉県は一切の責任を負いません。

イ CONACYTへの誓約書への署名

埼玉県への誓約書のほか、別添3のCONACYTへの誓約書に署名する必要があります。出願時に提出は不要ですが、研修に関する詳細(奨学生の義務など)について、本誓約書を参照してください。

(2) 海外旅行保険への加入

奨学生は、各自で海外旅行保険に加入し、写しを埼玉県に提出するものとします。なお、海外旅行保険の費用は自己負担です。

(3) 留学の準備について

奨学生として決定された方は、ビザの申請や現地情報の入手等は御自身の責任で行っていただきます。

9 出願・選考・通知等の流れ（予定）

2022 年	6月20日（月）	募集締切（消印有効）
	6月27日（月） まで	書類選考結果・面接日程通知
	7月4日（月） 又は 7月6日（水） （予定）	県による面接
	7月中旬	県による被推薦者の決定
	8月下旬	メキシコ政府による審査・ 正式な受入通知

10 埼玉親善大使及び研修報告等について

- (1) 奨学生には、奨学期間中、埼玉親善大使（※）として、現地レポート（800字程度）を1か月に1回埼玉県に提出していただくとともに、奨学期間終了時に「奨学終了報告書」（4,000字程度）を提出していただきます。
（※）埼玉親善大使…埼玉県と世界の国々との懸け橋として、友好交流の推進に寄与いただける方に委嘱し、埼玉県のPRを図るとともに、本県の国際化の推進を図るものです。
- (2) 提出いただいた埼玉親善大使レポートは、氏名とともに、埼玉県国際課のホームページへ掲載します。
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0306/nichiboku-shogakusei.html>
（参考：埼玉親善大使レポートホームページ）
- (3) 奨学生として決定された方には、出発前の埼玉親善大使委嘱式及び帰国後の報告会へ御出席いただきます。
- (4) 奨学生として決定された方には、「埼玉県メキシコ研修生OBネットワーク（仮称）」及び「グローバル人材埼玉ネットワーク」(<http://www.ggsaitama.jp/globalnet/>)に御加入いただきます。県内で行われる国際交流事業への協力を依頼することがあります。

11 渡航前説明会

メキシコへの渡航1か月前を目途に、渡航及び研修にあたっての重要事項に関する、外務省主催の渡航前説明会が開催される予定であり、合格した研修生は必ず参加していただきます。

12 留意事項

- (1) 埼玉県から推薦された方は、日本政府による更なる選考の上メキシコ政府に推薦されます。本県からの被推薦者が最終合格者ではありません。
- (2) 本研修計画において、奨学生は主体的に学習を進める必要があります。CONACYTや在メキシコ日本大使館が行う支援はあくまでも側面的な

ものである点をあらかじめ十分理解した上で、明確な目的意識を持って御参加ください。

- (3) 本募集要項に記載されている諸要件（専攻分野、受入機関、派遣期間、待遇等）については、今後変更となる場合があります。
- (4) 研修期間中の日本への帰国及びメキシコ国外渡航は原則として認められません。
- (5) 安全で有意義な留学のため、この奨学金に応募する者は、留学先の治安状況等をはじめ留学に関する情報を各自で必ず事前に収集してください。

【参考】

メキシコ国家科学技術審議会（CONACYT）：<http://www.conacyt.gob.mx>

独立行政法人 日本学生支援機構 海外留学支援サイト：<http://www.jasso.go.jp>

海外安全ホームページ：<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

- (6) 月額滞在費を超える範囲でのメキシコにおける諸雑費（国際通話料、国内旅行費など）、渡航前説明会参加に必要な交通費、在日メキシコ大使館におけるメキシコ査証申請・取得及び渡航当日の成田空港までの交通費等、本研修計画におけるメキシコ政府による給付に含まれない費用（上記2（4）に明記されていない費用）については自己負担となります。
- (7) 研修後、全ての研修生は外務省中南米局中米カリブ課への研修報告書の提出が義務づけられます。

問い合わせ先

埼玉県県民生活部国際課国際連携担当

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1

電話 048-830-2713 FAX 048-830-4748

E-mail a2705-09@pref.saitama.lg.jp